

1. 平成27年度共同訓練の実施(平成27年11月18日実施)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 証券市場全体のBCPにおいて被災後も証券市場の機能を維持し、低下した市場機能を早期に回復させることの支援
シナリオ	<ul style="list-style-type: none"> 平日7:30に首都直下地震が発生 都内広範囲で停電、一般電話の大半が不通、メール送受信は遅延 鉄道等の運転見合わせ等により、首都圏外からの応援要員は見込めない。
訓練概要	<ul style="list-style-type: none"> 日銀ネット、取引所市場、公社債市場及び決済・清算機関の状況変化に合わせた各社対応訓練及び双方向機能を用いた省庁等への報告対応 自社の独自シナリオによる連動訓練

2. 取引所金融商品市場外取引等(以下「取外取引等」)の状況変化に合わせた対応訓練への拡張

- 共同訓練のシナリオの高度化のため、BCPWEBで取外取引等システムの稼働状況を周知、及び、各社が業務状況を更新するシナリオを追加した。

想定時刻	『BCPWEB』を利用した訓練内容
7:35～ 8:00	(日証協) <ul style="list-style-type: none"> 取外取引等システムの稼働状況を取扱い会員各社に周知
7:35～	(取扱い会員) <ul style="list-style-type: none"> 日証協の情報周知を踏まえて、各社が業務状況を更新

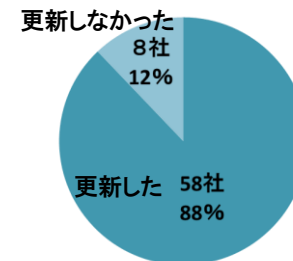
3. 訓練結果の概況

・共同訓練の参加状況

参加社数	283社/342社中 (83%)	
	会員	235社/253社中 (93%)
	特定業務会員	1社/ 2社中 (50%)
	特別会員※	47社/ 87社中 (54%)

※ 証券市場BCP参加特別会員数

・取外取引等の取扱い会員の訓練状況



共同訓練参加協会のうち、取外取引等の取扱いがある協会員66社中、58社(88%)がBCPWEBで業務状況を更新している。

・訓練後の各社の感想

- 訓練を重ねることで、BCPWEBでの入力に慣れることができる。一方で、BCPWEBを初めて利用した担当者には操作がわかりづらい部分があった。
- 参加会員の大小に関わらず大規模な訓練ができることは有意義であるので、全ての参加者が意識を高く持ち参加する必要がある。
- 有事の際は、訓練のように進まないことも考えられるため、最低限の報告事項を考えておく必要があると感じた。
- BCPWEBからの一斉送信メールについて、訓練日前にテストメールを送信する等、受信の可否を確認してほしい。